

令和5年度 第1回松本市教育文化センター専門委員会 会議録

1 日時

令和5年5月18日（木）午後3時30分～午後5時

2 場所

教育文化センター2階 201号室

3 出席者

- (1) 委員 小松（幹）委員長、馬場委員、小林委員、市川委員、小松（伸）委員、内川委員、上條委員
- (2) 事務局 小西教育政策課長、高橋教育文化センター所長、一ノ瀬科学博物館長、川野指導主事、上條指導主事、望月主任、瀧澤指導員、鈴木指導員、大池旧山辺学校館長

4 内容

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 教育政策課長あいさつ

創立以来、教育文化センターは学校教育に携わっており、現在は主に子どもたちの一日学習であるアルプスタディや学校や公民館で探究的な学びを支援する探究パック事業等を実施している。これらの事業が学校や市民の方にとって、より役立つものになるよう、委員の皆様と共にブラッシュアップしていきたい。

- (4) 自己紹介
- (5) 会議事項

ア 教育文化センター専門委員会について

(ア) 設置の趣旨

以前は市内全学校から先生を1名ずつ推薦していただいたが、一昨年度からは人数を数名に厳選して、共に教材開発や展示内容の更新を行っている。専門委員の先生方にも委員としての活動を通してさらに研鑽を積んでいただけたらと思う。

(イ) 活動内容

委員の内、特に管理職の先生方はアルプスタディを視察し、改善に向けたご意見をいただきたい。教諭の先生方には、ぜひ自校で探究パックを実践し、市内各校に向けて成果を発信していただきたい。

イ 令和5年度アルプスタディについて

- (ア) 探究的な学びを体験し学校での探究のきっかけとなるよう講座内容を検討
- (イ) 新たに引率外の先生にも学びの場として参加できる取り組みや、保護者の方も参観できる仕組みを整備
- (ウ) 探究的な学びに ICT を活用する観点から、子どもたち全員に一人一台のタブレット端末を持参してもらう

【委員からの質問や意見等】

- ・ 昨年度の事業を見学したところ、プラネタリウムでは観覧者と対話しながら、夜空とリンクした解説をしていたため、子どもたちが星の物語の中に引き込まれていた。星に詳しくない子どもが嬉々としてそこで見たものを語っていた。このような対話的な学習の進め方を引率される担任の先生方にも見て学んでいただきたい。
- ・ ロボットプログラミングでは、子どもは試行錯誤をしていく中で思い通りにロボットが動くようになったことに、大きな充実感を感じていた。子どもから生まれる「問い」を大切にしながら探究的に学ぶことで深化する。
- ・ 例えば美ヶ原キャンプに関わり、キャンプ当日の星空を引率する職員がアルプスタディのプラネタリウムで解説する等、学校行事と連携させると、子どもの意識がつながり探究的な学びになる。
- ・ アルプスタディのどの部分で子どもの問いが生まれてくるのか、この専門委員会の場で語りながらしっかりと見ていきたい。
- ・ アルプスタディで探究の種をまいてもらえるとありがたい。

ウ 令和5年度探究パックについて

- (ア) 上高地の岩石等の地域素材やプログラミング教材、プラネタリウムの番組制作アプリ等、学習向けに研究された教材の活用をとおして、探究的に学べる授業づくりを教育文化センターの指導主事や指導員が関わり支援するもの
- (イ) アルプスタディでの教材研究の成果が探究パックに取り入れられている
- (ウ) 学校向けだけでなく、公民館や教職員等に向けても実施している
- (エ) 県内の他市町村からも問い合わせが来ている状況
- (オ) 本市と包括連携協定を結ぶセイコーエプソン株式会社と連携しながら授業や学校行事にプロジェクタを活用し、教育の質向上等を目指す取り組みの支援を実施

【委員からの質問や意見等】

- ・ 探究的な学びを学校で進めたいが、先生方が具体的なイメージが持てないと実践につながらない。探究パックで子どもが探究する姿を見ることで教師が「こうすればできる」という実感を持つことができると思う。
- ・ 深く研究をされた教材をお借りできるので、探究的な学びのきっかけづくりがしやすいと感じる。さまざまな教材を学校全体で活用していきたい。
- ・ 探究的に学んだ子どもはどんな言葉で学びを語るのか、自分の心のひだに引っかけたものをどのように表現するのか。そこにふれたときに先生方は「さらにやってみよう」と感じる。子どもの学びの姿をしっかりと見ていきたい。
- ・ 教室で机を壁際に寄せ、中央に子どもたちが「夢の空間」と呼ぶ、大きなスペースをつくった。その床にプロジェクタで投影するといろんな学びが生まれそう。エプソン連携事業として短焦点プロジェクタをお借りして実践したい。
- ・ 学校の50周年記念行事で子どもたちがフォトモザイクアートに挑戦している。探究パックにあるカメラ付きドローンを活用し素材撮影したい。
- ・ 教材を貸し出すだけでなく、授業づくりについてのアドバイス等の人的な支援がセットになっていることが大変ありがたい。

(6) 閉会